

## FIC テキスタイル・スクール桐生・足利産地研修 参加者募集のご案内

FICテキスタイル・スクールではスクール研修の一環として、桐生織物協同組合のご協力を頂き、毎年桐生産地への実地研修を実施しています。

1300年の歴史と伝統を持つ桐生織物は近年、ジャガード織物のコンピューターソフトの開発など、その技術は、先人からの継承はもとより、常に研究開発し邁進しています。複雑な織機や染色機を見学し、現場の声を聞き、製造工程の流れや現場の動きを肌で感じとることは、100の知識に勝る体験になると考えます。是非この貴重な機会をご利用頂き、日々のお仕事に繋げて頂ければ幸いです。

まさに“百聞は一見に如かず”です！

### — 記 —

- ◇ 主催 : 東京織物卸商業組合 FIC 事業部
- ◇ 協力 : 桐生織物協同組合
- ◇ 実施日程 : 10月6日(水)
- ◇ 参加費 : **¥21,000**(消費税込)
- ◇ お申込み : 同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。※メール申込も可
- ◇ お支払方法 : 下記指定銀行にお振込みください。  
※振込手数料はご負担下さい。お振込みいただいた受講料は返金いたしかねますのでその旨ご了承ください。
- ◇ お振込先 : **みずほ銀行横山町支店 (普)1614908 東京織物卸商業組合 FIC 事業部**
- ◇ お問合せ : 東京織物卸商業組合 FIC 事業部 担当:神山  
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-9-6 東織健保会館 7F  
Tel:03-3663-2103 / Fax:03-3661-5430  
e-mail:kamiyama@tafs.or.jp  
URL:http://www.tafs.or.jp
- ◇ 最小催行人数 : 10名
- ◇ 研修スケジュール概要

**07:40 浅草駅発 新桐生到着後マイクロバス乗車**

→ 群馬県繊維工業試験場見学

→ 桐生地域地場産業振興センター(昼食) 桐生織物協同組合青年部と交流

→ 小林当織物(株)

→ 朝倉染布(株)

→ 足利へ移動

→ 朝日染色(株)

**17:30 頃 東武足利市駅前にて解散**

**19:00~19:30 頃 浅草着**

※参加費には往路の特急乗車券(浅草→新桐生)と昼食費が含まれています。復路は含まれていませんので足利市駅より各自でご購入をお願いします。

## 見学先概要

桐生は古くから「西の西陣、東の桐生」と称され、西陣と並ぶ繊維産業の町として知られ、江戸時代末期には既にマニファクチャによる生産体制を確立していました。明治時代に入り、ジャカード機などの当時最新鋭の機械・技術をいち早く導入し、桐生の繊維産業は日本の近代化を推進する大きな原動力となりました。今日では織物産業のほか、縫製、刺繍などの二次的繊維関連産業と、高度経済成長期以来伸長した輸送機器、家電関連、レジャー関連機器、プラスチック工業も地域経済の中に根ざし、拡大伸長を続けています。

### ■群馬県繊維工業試験場

明治 38 年、染色業の改善をはかるため、伊勢崎に「群馬県工業試験場」を開設。

昭和 52 年新庁舎落成。桐生・伊勢崎両繊維工業試験場を統合し、群馬県繊維工業試験場として桐生市に発足。

平成 11 年群馬県繊維工業試験場 情報・技術交流センター開所。現在にいたる。

県内繊維産業への支援を目指し、試験研究（織編物、繊維素材、染色、化学試験、デザインなど）、依頼試験・技術相談、中小企業技術研修、アドバイザーの派遣受託研究などを行っている。

URL <http://www.ttrl.pref.gunma.jp/>

### ■小林当織物㈱

ジャカード機・ドビー機による複合繊維使いの高度な製織技術と洗練された感性で、高級婦人服業界から高評価を集めている。ジャカード織物のエキスパートを自負。高速織機の使用により、納期の短縮化を図っている。エコ素材を使用したテキスタイル商品や、パンプ素材やポリ乳酸繊維などのエコ素材に限定し、染色加工についても地球環境に負荷を与えない方法を採用して差別化を図っている。

また、過去に製織した 4 万点を超す織物見本が保存されており、日本の織物史、ファッション史の貴重な資料として、全国からテキスタイルデザイナーなどの見学者が多数訪れている。

### ■朝倉染布㈱

1892 年創業。110 年を超える長い歴史の中で一貫した新たな染色加工技術開発に取り組み、特に伸縮性に富んだ最前線の素材（ストレッチ・ファブリック）に対する、吸汗速乾加工や強力撥水加工などを通して、スポーツのトップアスリートたちの飽くなき記録への挑戦を支援。

競技用ウェアから女性用インナーまで、機能とデザインをファッションナブルに融合。テキスタイルの染色整理、インクジェットプリント、吸水速乾、超撥水加工まで。高級感のあるファッションアイテムを通信販売。

### ■朝日染色㈱

1918 年創業。ハンドプリントでは最大の設備を誇る。

ハンドプリントにこだわり、糊は海外から取り寄せ、自社で独自に配合。染料も一色、一色手でブレンドしている。1 版ずつ乾かしながら職人の手で捺染をし、蒸し上げ、それを手で洗う。最後は機械に頼らず、自然のままに乾かす。ハンドプリントの良さともいえる、高品質・多品種・小ロット。